

人口減少社会に対応する行政運営のあり方研究会 「道路・橋梁の維持管理」作業部会 状況報告

平成26年5月20日

1 作業部会設置の目的（ねらい）

社会問題となっている、道路・橋梁等のインフラ老朽化対策について、県内市町村の多くが抱えている技術ノウハウや、技術職員不足等の課題への対応を検討する。

2 平成25年度の活動実績

回	開催月日	主な活動（協議）内容
第1回	11月26日	・各自治体が抱える課題を抽出 ・抽出した課題の要因を「ヒト」「かね」「技術」「その他」に分類
第2回	2月17日	・分類した課題ごとに方策案を検討
第3回	3月25日	・各市町村が採用したい方策案を抽出（PLAN）

3 前記活動に対する評価（効果や課題）

- ・市町村によって、インフラ老朽化対策に対する問題意識に温度差があるものの、全市町村が身の丈にあったプランニングを行ったことは大きな成果
- ・そのプランを、いかに確実に実践するかが課題

4 平成26年度の活動予定

（1）実践（Do）と検証（Check）

各市町村が、取り組み可能な方策案を実践し、取り組みに対する点検と評価を行う。

（2）その他

なお、各道路管理者がメンテナンスサイクル（点検→診断→措置→記録）を確実に回せるよう、国が中心となって「道路メンテナンス会議」を設立することとしており、県も市町村への支援体制をさらに強化する。